

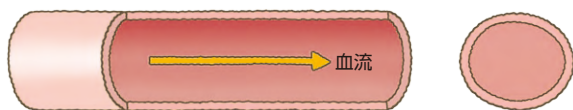
# 動脈硬化とは？

## 動脈硬化とは？

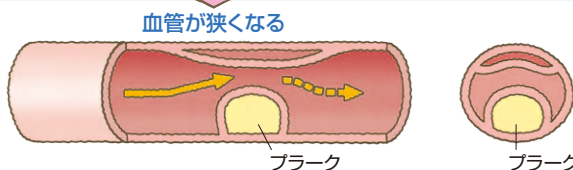
本来しなやかである動脈が、加齢や生活習慣の乱れなどにより弾力性を失い硬くなった状態をいいます。硬く傷つきやすくなった動脈にコレステロールなどがたまり、血管が狭くなったり、詰まりやすくなることでさまざまな障害をもたらします。

### 動脈硬化の進行

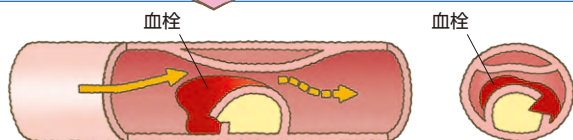
動脈は、血液を運んだり心臓に押し戻すなどポンプのような作業を行っています。



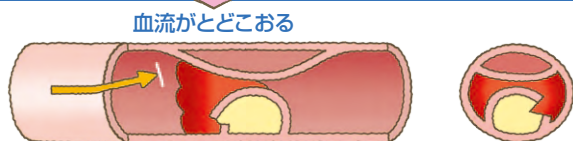
血管壁の傷んだところにコレステロールなどがたまり、プラーク\*1を形成します。また傷んだ部分を修復するために血小板\*2が付着して、血管壁が厚くなります。



プラーク\*1が破れて、そこに血小板\*2が集まり、血栓が形成されます。



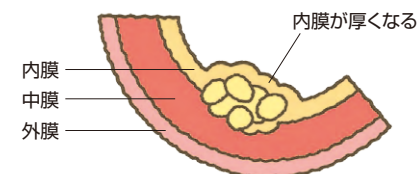
血栓により血管が詰まり、血流がとどこおります。



### 動脈硬化のタイプ

#### アテローム動脈硬化(粥状動脈硬化)

動脈の内膜にコレステロールなどが沈着して、どろどろの粥状物質(アテローム)のプラーク\*1となり、次第に内膜が厚くなることで血管が狭くなる。



起こりやすい部位

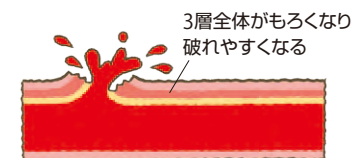
比較的太い動脈(大動脈、冠動脈、脳底動脈、腸間膜動脈)

#### 細動脈硬化

加齢や高血圧症が長く続いて引き起こされることが多い。

起こりやすい部位

脳や腎臓内の細い動脈

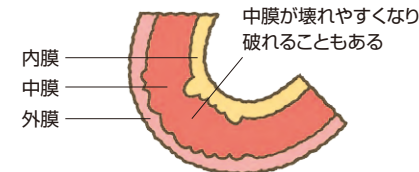


#### 中膜硬化(メンケルベルグ型動脈硬化)

動脈の中膜に血中カルシウムがたまって硬くなる。

起こりやすい部位

頸部、手足の動脈



\*1 プラーク: 動脈の血管壁に沈着したコレステロールの固まり。粥腫(じゆくしゆ)ともいう。 \*2 血小板: 血液の止血や凝固作用を持つ成分